

おとうふ日和

おとうふは、どんな薬よりも勝るもの。

そのままでもよし、煮てもよし、焼いてもよし。本物の食はすぐそこにありました。

こんにちは。株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。

「ザ・フナイ 9月号」経営の分かれ道として、成功した経営者に共通していること、経営の鍵を握る大きな要素の一つに「素直さ」があると述べています。

松下幸之助さんは、人が成功するためにひとつだけ資質が必要だとすると、それは「素直」だとおっしゃっているそうです。

素直には3つのステップがあるそうです、私も勉強のため、忘れない為にも、日和にのせておこうと思いました。

●第一のステップは「素直に聞くこと」

相手が言っていることを、まず聞く、受け入れる姿勢をもつことが大切「素直さは」「謙虚さ」につながり、謙虚さがあるから、相手の話に耳を傾けることが出来るのだと思います。

素直さのない人の最大の弊害は、人の話を受け入れないこと、どんな優秀で頭の良い人でも、自分の力しか出し切れず、成功は望めない、あの人にはなにを言っても無駄だと思われ協力してくれなくなります。

●第二のステップは「まずは、やってみる」

人の話を聞いても、行動、実行に移さない人がいます。講演で200名の方が話しを聞いても、行動に移す人は2、3名だそうです。「まずは、やってみよう」という精神が根づいていることが会社には必要、その姿勢が、活気をもたらし、社員が生き生き働ける原動力になります。

孔子は論語のなかで人が立派かどうかは、その人が言っていることだけでなく、やっていることを見て判断するようになったと言っています。

●第三のステップは「やり続ける」

継続は力なり。人の話を聞いて、行動に移したあとは、結果がでるまでやり続けることが肝心。この大宇宙のすべて、光でも、音でも、人間でも、植物でも、細胞でも、分子でも、元素でも、みなそれぞれ周りの助けがあって存続しているのです。全てが一人では存続しないのですから、感謝しながら、やり続けましょう。

この3つのステップを毎日、朝、仏様にお茶と線香をあげるときに、「今日も素直でいられますように」とお祈りし、毎夜、素直でいられたかどうか反省したいと思います。また会社の皆とも、勉強会の際に、朝礼の際に続けたいと思います。

船井流に、経営に必要な三つをあげています。

「素直」「勉強好き」「プラス発想」がありますが、これからの経営に、ものづくりに忘れずに実行していくことを誓いたいと思います。

素直
勉強好き
プラス発想